

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2019 キャンパスSDGs びわ湖大会

～地域から生まれる新しい価値～

実施報告書

滋賀県立大学SDGs宣言 (2018.6.16)

- S 滋賀県立大学は「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」をモットーに
 - D 誰一人取り残さない持続可能な社会を目指し
 - G グローカルな思考と実践をもって
 - s 世界と地域の発展に貢献します



ごあいさつ

滋賀県立大学では、2019年11月16日(日)に「キャンパスSDGsびわ湖大会～地域と共に育む新しい価値の創造～」を開催いたしました。

県内外の学生等が、SDGs(持続可能な開発・発展目標)の達成に関連する各自の活動を持ち寄り、情報発信や情報交換を行い、交流を深めるとともに、新たなネットワークを構築することを趣旨として参加をお願いしましたところ、小・中・高等学校、大学、企業、自治体、各種団体等から、多くの皆様にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。皆様に厚く御礼申し上げます。

本大会を通じて、SDGsへの意識が高まり、SDGsの目標や地域の発展に寄与する活動やネットワークが生まれることを願っております。引き続き、地域を舞台としたSDGsの推進にご支援ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

ご参加・ご支援いただいた皆様 当日参加者：412名

参加校 31校

小学校：草津市立渋川小学校、多賀町立大滝小学校
 中学校：甲賀市立土山中学校、草津市立草津中学校
 高等学校：滋賀県立河瀬高等学校、滋賀県立虎姫高等学校、滋賀県立長浜北星高等学校、滋賀県立八幡商業高等学校、滋賀県立草津東高等学校、滋賀県立守山高等学校、滋賀県立国際情報高等学校、滋賀県立高島高等学校、滋賀県立日野高等学校、京都府立海洋高等学校、日本福祉大学付属高等学校
 大学：滋賀文教短期大学、滋賀大学、聖泉大学、立命館大学、龍谷大学、滋賀県立大学、名古屋大学、和歌山大学、鳥取大学、奈良県立大学、福知山公立大学、芝浦工業大学、中央大学、京都産業大学、大阪産業大学、九州産業大学

協賛 後援

滋賀トヨペット株式会社、山科精器株式会社
 滋賀県教育委員会、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町



キャンパスSDGsびわ湖大会 プログラム

開催日：2019年11月16日(日)9：30～17：30 場所：滋賀県立大学

9：30～10：10

オープニング 開会式 p.3

鍛冶屋太閤踊り 長浜市鍛冶屋町のみなさん×県立大学
 開会挨拶：廣川能嗣 滋賀県立大学 理事長(学長)
 来賓挨拶：三日月大造 滋賀県知事



10：10～10：55

第1部 基調講演 p.4

演題「SDGsをアクションしよう！」
 講師：高野翔さん(国際協力機構(JICA)職員)

11：00～12：00

第2部 パネルディスカッション p.34

パネリスト
 高野翔さん(国際協力機構(JICA)職員)
 大日陽一郎さん(山科精器株式会社代表取締役社長)
 中田佳恵さん(滋賀県総合企画部企画調整課課長)
 宮内芳維さん(鳥取大学・NPOツナガルドボク中国)
 川嶋凜海さん(近江楽座田の浦ファンクラブ学生サポートチーム)
 モデレーター：
 森川 稔 特任准教授 (滋賀県立大学 地域共生センター)



12：45～14：15

第3部 ポスターセッション・動画コンテスト p.5,6

テーマ「SDGsでつながり、地域の課題解決を考える」

14：30～17：30

第4部 ワークショップ・成果発表 p.7,8

「SDGsの17目標でつながる」
 ワークショップ

17：40～19：00

交流会 ワークショップ相互評価など p.8

キャンパスウォーク

高校生を対象に、学内を見学するツアー「キャンパスウォーク」を開催しました。多くの高校生に、特徴ある県大のキャンパスを体感いただきました。卒業生が制作したミュージックビデオをぜひご覧ください! →



広報・メディア掲載

ポスター配布(高校等) 1,000枚
 チラシ配布 60,000枚
 その他、HP、MM、SNS等で発信
 メディア掲載：2019.10.22 中日新聞
 2019.11.13 滋賀彦根新聞
 2019.11.18 中日新聞

オープニング 県大フィールドワークをきっかけに復活した太閤踊り

オープニングには、長浜市から「鍛冶屋太閤踊り」のみなさまが、駆け付けてくれました。「鍛冶屋太閤踊り」の由来は、戦国時代に長浜市鍛冶屋町で「草野槍」と呼ばれる武器を製造し、その槍が賤ヶ岳の戦いで羽柴秀吉側の勝利に貢献し、勝利の祝いに踊りが始まったとされます。1999(平成11)年から途絶えていましたが、滋賀県立大学のフィールドワークをきっかけに、和太鼓の経験のある社会人学生や学生が保存会と連携し、2018(平成30)年12月から練習を始め、2019(令和元)年に復活しました。ヤマドリの羽根のかぶり物を被り、軽快なテンポの太鼓のリズムでステージを練り歩き、会場を盛り上げていただきました。



太閤踊り保存会のみなさんと県大生のコラボレーション

開会式



三日月大造滋賀県知事の挨拶



舞台にはふるさと絵屏風を展示

開会式では、主催者を代表した廣川滋賀県立大学理事長の挨拶に続き、来賓として三日月大造滋賀県知事にご挨拶いただきました。滋賀県はSDGsに関する取り組みを先進的に推進されています。

また、舞台には県内各地で製作された「ふるさと絵屏風」が展示され、会場に花を添えました。

パネルディスカッションでは「slido」を活用して会場との意見交換

基調講演 演題「SDGsをアクションしよう」講師：高野翔さん

基調講演は、国際協力機構(JICA)職員で、地元福井県でも活躍されている高野翔さんにお話しいただきました。「SDGsは、私たちの生活に主体性を取り戻す世界的なきっかけ」という高野さん。SDGsには世界共通の目標・課題が示されていますが、その取組方法に制限はなく、だからこそ、身近な課題を発見し、自分ごととして動き始めることが重要と説明されました。

具体的な事例として、高野さん自身が仲間と開催した「できるフェス」について動画を交えて紹介いただきました。2018年の豪雪により財政難に陥った故郷・福井市で縮減された公共事業を市民目線で見直し、自分たちができる方法で代替する試みです。みんながアイデアを持ち寄り、楽しそうに実践する様子から「社会は自分たちで変えられる」「社会課題を自分ごとにして主体的にアクションしよう!」という力強いメッセージをいただきました。



高野さんからはSDGsに取り組むための具体策を紹介いただきました

パネルディスカッション SDGsを共通言語に多様な主体が議論

パネルディスカッションでは、SDGsを共通言語として、多様な主体による報告とディスカッションを行いました。

大日さんからは「yasec SDGs Action」、中田さんからは「滋賀XSDGs世界へ発信」、宮内さんからは「社会人と学生をツナギ、地方中小企業の魅力で地域創成」、川嶋さんからは「田の浦ファンクラブ学生サポーターチーム」について報告をいただいた後に、それぞれの課題を提示いただき、解決方法や協働の方法について議論を行いました。

また、スマフォアプリ「slido」を活用して、会場からも質問を受付け、たくさんの意見交換を行いました。

パネリスト:

- 高野翔さん (国際協力機構(JICA)職員)
- 大日陽一郎さん (山科精器株式会社代表取締役社長)
- 中田佳恵さん (滋賀県総合企画部企画調整課 課長)
- 宮内芳維さん (鳥取大学・NPOツナガルドボク中国)
- 川嶋凛海さん (滋賀県立大学近江楽座田の浦ファンクラブ学生サポートチーム)

モデレーター:

- 森川 稔特任准教授 (滋賀県立大学 地域共生センター)

各登壇者が取り組みを紹介



ポスターセッション・動画コンテスト

SDGsの実現に向けた優れた取り組み・アイデアを表彰

ポスターセッション・動画コンテストは、SDGsの達成に向けて活動している学校や団体の実践例や、社会課題を解決するアイデアを、ポスターや動画で募集し、優れた活動を顕彰するとともに、相互研鑽や交流促進を目的に実施されました。

部門は、SDGsに関する活動実践をポスターで報告する「実践部門」、「プラゴミゼロ社会を目指せ!」をテーマにアイデアを募集する「アイデア部門」、SDGsの発信に寄与する3分以内の動画を募集する「動画部門」の3つ。賞は知事賞、学長賞と各部門賞、そして小・中・高校生の応募に対して表彰する「未来の担い手奨励賞」を設け、受賞者には表彰状と副賞が授与されました。

参加資格は、SDGsに関連する活動を行っているもしくは関心のある県内外の企業、NPO、市民団体、学生、および小学生、中学生、高校生のチーム。1チームにつき1作品で、1チームは3名以上で構成することが要件でした。小・中・高・大学生、企業、各種団体から計27チームに参加いただきました。



受賞チーム

知事賞



地域の人々をつくる「渋川ESDミュージアム」
エコスクール渋川小学校

学長賞



「ごみを資源に!制服to制服でつくる未来の輪」
守山高等学校 チームFE3C

実践部門賞

「社会人と学生をツナギ、地方中小企業の魅力で地域創生」
鳥取大学・NPOツナガルドボク中国

アイデア部門賞

「竹の時代到来!!」
滋賀県立大・下口,金森,山口,宮島,大原チーム

動画部門賞

「滋賀のお茶「政所茶」」
環びわ湖大学・地域コンソーシアム SDGs動画プロジェクト第5班

未来の担い手奨励賞

「ふるさとめぐり」 長浜北星高等学校

参加チーム 計27チームに参加いただきました

実践部門

チーム名	タイトル
1 とよさと快蔵プロジェクト	とよさと空き家リノベーション事業
2 廃棄物バスターズ	廃棄物バスターズの取組
3 フラワーエネルギー「なの・わり」	フラワーエネルギー「なの・わり」の取組
4 未来看護塾	未来看護塾の取組
5 橋本建設・NPO法人CESA	工事をジブンゴトに!CESAアクションプログラム
6 フードバンクびわ湖	食品ロスを地域の資源へ
7 守山高等学校「おにぎり班」	おいしが!で滋賀を元気に!世界の子どもたちに笑顔を!
8 芝浦工業大学SDGs学生委員会-綾いと-	SDGs学生委員会-綾いと- 活動報告
9 鳥取大学・NPOツナガルドボク中国	社会人と学生をツナギ、地方中小企業の魅力で地域創生
10 エコスクール渋川小学校	地域の人々をつくる「渋川ESDミュージアム」

アイデア部門

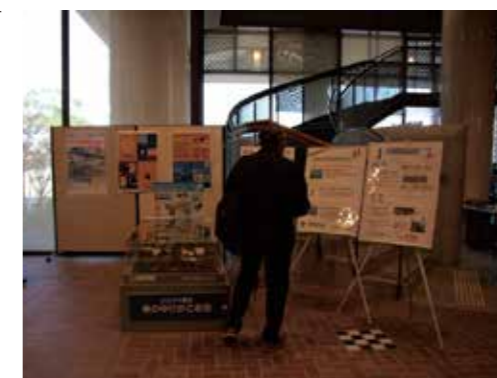
チーム名	タイトル
1 滋賀県立大・山添,平田,藤原,福島,川北チーム	PP大作戦
2 滋賀県立大・下口,金森,山口,宮島,大原チーム	竹の時代到来!!
3 滋賀県立大・木村,中西,下村,山田,野口チーム	プラスチック税導入!!
4 滋賀県立大・森,范,徳武,尾本,白杵チーム	滋賀県プラゴミアート大会
5 滋賀県立大・杉原,小田,松永,津野,苗苗,井上チーム	あなたの水筒給水しませんか?
6 滋賀県立大・長島,西,南浮,佛性,山本チーム	恋もゴミもキャッチング!?
7 守山高等学校 チームFE3C	ごみを資源に!制服to制服でつくる未来の輪

動画部門

チーム名	タイトル
1 長浜北星高等学校	ふるさとめぐり
2 田の浦ファンクラブ学生サポートチーム	海の運動会in田の浦
3 環びわ湖大学・地域コンソーシアム SDGs動画プロジェクト第1班	住み続けられるまちづくりを 滋賀県大津市「仰木の里」
4 環びわ湖大学・地域コンソーシアム SDGs動画プロジェクト第2班	飢餓をゼロに
5 環びわ湖大学・地域コンソーシアム SDGs動画プロジェクト第3班	みんなのSDGs 目標2「飢餓をゼロに」飢餓のない世界を
6 環びわ湖大学・地域コンソーシアム SDGs動画プロジェクト第5班	滋賀のお茶「政所茶」
7 チーム長島	豊かな海と共に生きるくらし

ポスター掲示のみによる参加

- ・滋賀県食のブランド推進課 有機農業について
- ・滋賀県農政課 世界農業遺産を目指して
- ・滋賀県農村振興課 魚のゆりかご水田



ワークショップ 17のグループに分かれて議論し、つながりを深めました

ワークショップは、様々な分野、いろいろな世代の方が一堂に会し、それぞれの活動を紹介し、議論しあう中から「持続可能な開発のための目標(SDGs)」の達成につながる新たな学びやパートナーシップを育むことを目指し実施されました。各グループでは、ファシリテーターの進行のもとテーマに則した議論を行い、得られた結果を全員が集合したホールで発表しました。

1 **海外支援** 参加者17名
 ファシリテーター:山本 康夫さん(国際協力機構(JICA) 国際協力推進員)
 話題提供: 1) タクノパン復興支援プロジェクト(滋賀県立大学近江座) 2) Jesuit House Project(滋賀県立大学近江座)
 3) ハティヤール村カティプロジェクト(滋賀県立大学近江座)
 話題提供者の事例発表後、持続可能なコミュニティをつくるための海外支援のあり方について討議しました。支援の段階ごとにどのような内容の支援が必要かを考え、自立に導くためのアイデアを出し合いました。ホールでは「現地の人たちが支援を受ける立場から抜け出し、自立するためのアイデア」を発表しました。

2 **自然エネルギー** 参加者8名
 ファシリテーター:秋山 毅さん(滋賀県立大学工学部 准教授)
 話題提供: 1) 小出 宏之さん(イビデンエンジニアリング株式会社) 2) なのわり(滋賀県立大学近江座)
 3) 藤敦 正幸さん(近江環人O.B.)
 話題提供者が実践している自然エネルギーの取り組みを紹介した後、①一人で取り組めること、②アイデアを共有、③アイデアをまとめる作業を行いました。

3 **古民家再生** 参加者14名
 ファシリテーター:吉本 智さん(ベストハウスネクスト株式会社)
 話題提供: 1) とよさと快蔵プロジェクト(滋賀県立大学近江座)
 2) かみおかベ古民家活用計画(滋賀県立大学近江座) 3) NPOツナガルドボク中国(鳥取大学)
 話題提供者の地域での取組を踏まえ、4~5名でグループを組み、「①テーマに対する現時点での課題→②2030年「こうなりたい!こうありたい!」目標→③実現するためのアクション」をポストイットを使って見える化しました。3グループを取りまとめて、発表を行いました。

4 **復興・防災まちづくり** 参加者19名
 ファシリテーター:小島なぎささん(一般社団法人まちづくり石寺)
 話題提供: 1) 田の浦FC学生ST(滋賀県立大学近江座) 2) たけともミライ(滋賀県立大学近江座) 3) 木興プロジェクト(滋賀県立大学近江座)
 4) 災害のつどひ(和歌山大学) 5) 防災サークル(名古屋大学)
 話題提供者が事例報告から情報を共有し、「災害に強いまちづくり」を議論しました。ワークショップでは、「防災意識を高める」「ハザードマップの整備」「実際に現地を見る」「支援してもらいやすいまちづくり」「楽しいイベント」「現地を見る」などのキーワードにまとめ、ホールで発表しました。

5 **地域診断法** 参加者18名
 ファシリテーター:新村 佳嗣さん(行政書士 新村法務事務所)
 話題提供: 1) 多賀町立大滝小学校6年生(匿名) 2) 木村 恵理さん(野洲市社会福祉協議会)
 3) 李 宗蒙さん(滋賀県立大学まちづくり研究室 大学院生)
 2つのグループに分かれ、自己紹介後、各自で付箋にどんどん書き出して見える化を実施。発表では、テーマを「地域らしさ」を次世代に継承するためには」として、①現状、②ビジョン、③アクションにまとめ、シエアできる地域を提案し、ホールで発表しました。

6 **地域文化を未来につなぐ** 参加者24名
 ファシリテーター:竜王 真紀さん(山内エコクラブ)
 話題提供: 1) 座・沖島(滋賀県立大学近江座) 2) スチューデント・キュレーターズ(滋賀県立大学近江座)
 3) 藤田 アニコーさん(滋賀でESDを進める会) 4) 竜王 みやびさん(山内エコクラブ・学生団体TREAD)
 4グループに分かれて、「地域文化の価値を見つけ主体的・対話的に持続できる地域づくり」を目標に掲げ議論しました。「情報発信」「若者が動けるような仕掛けづくり(体験)」「みんなで昔の体験をして価値を分かち合う」「昔の暮らしの伝承」というキーワードにまとめホールで発表しました。

7 **エシカル消費とフェアトレード** 参加者8名
 ファシリテーター:辻 博子さん(一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク)
 話題提供: 1) 株式会社コクヨ工業滋賀 2) 株式会社叶 匠壽庵
 フェアトレード商品の意味や三方よしの精神を紹介した後、話題提供者から実例が報告されました。「広げよう!!SDGsカフェ & 滋賀の学食」をテーマに、「スタバコンビニでよしストーリー」「学食でフェアトレード商品の販売」など身近でできそうなアクションをとりまとめ、ホールにて発表しました。

8 **農業と地域ブランド** 参加者17名
 ファシリテーター:武藤 健司さん(アルパック株式会社)
 話題提供: 1) 政所茶レン茶(滋賀県立大学近江座) 2) とよさらだ(滋賀県立大学近江座)
 3) 今堀 治夫さん(東近江市栗見出在家町魚のゆりかご協議会) 4) 上田 長司さん(農業生産法人 有限会社 永源寺マルベリー)
 グループで「地域(産品)×「〇〇」をキーワードにSDGsアクションを考えました。どのグループも活発に議論され、発表タイトルは、「湖風村×●●で、サステナブルに!」となりました。「琵琶湖×水産植物」「ストーリーのあるキャラクター」「ガイドブック」などのアイデアをホールで発表しました。

9 **琵琶湖の環境** 参加者17名
 ファシリテーター:金尾 滋史さん(琵琶湖博物館 主任研究員)
 話題提供: 1) 廃棄物バスターズ(滋賀県立大学近江座) 2) 滋賀県立大生き物研究会(滋賀県立大学近江座)
 3) 滋賀県水産試験場 4) 渋川小学校の取組(草津市立草津中学校)
 話題提供者の報告の後、「自分でできること」「みんなでできること」を付箋書いて「できること」の見える化を実施しました。その付箋を、「個人とみんな」を横軸に、「じっくりと今すぐ」を縦軸に分類すると、付箋で「個人・今すぐ」から、「みんなでじっくり」のラインが形成されました。このグラフをもとに、ホールにて発表しました。



ワークショップでは付箋を使って意見を整理

10 **やまの健康** 参加者8名
 ファシリテーター:田中 孝佳さん(滋賀県琵琶湖環境部森林政策課)
 話題提供: 1) BAMBOO HOUSE PROJECT(滋賀県立大学近江座) 2) 伊賀並 正信さん(みんなの家E)
 3) 田中 孝佳さん(滋賀県琵琶湖環境部森林政策課)
 滋賀県の「やまの健康」推進プロジェクトの説明のあと、「やまと自分のつながり・日々の困りごと」「やま、農産物にどうすれば行きたくなる?」「人が健康とはどんな状態?」をキーワードに議論しました。「ここが私の秘密基地」という提案をまとめ、ホールで発表しました。

11 **SDGsを広める** 参加者10名
 ファシリテーター:中口 毅博さん(芝浦工業大学 教授)
 話題提供: 1) あかりんちゅ(滋賀県立大学近江座) 2) 芝浦工業大学SDGs学生委員会(芝浦工業大学)
 3) 立命館大学 Sustainable Week 実行委員会(立命館大学) 4) 中野 優さん(株式会社ライフデザイン 阪急阪神)
 「SDGsを広める」ために、無関心な人をどう巻き込んでいくかを考えました。3つの視点「楽しく・手軽に」「得意なことを生かす」「将来の職業と結びつける」で、アイデアを考え、ホールで発表しました。

12 **科学技術とSDGs** 参加者11名
 ファシリテーター:山野 光裕さん(滋賀県立大学工学部 准教授)
 話題提供: 1) 青柳 孝幸さん(株式会社PRO-SEED 代表取締役社長) 2) 丸 直樹さん(ガイザーロボスクール)
 3) 西村 健太郎さん(有限会社エコロボ)
 ロボット教室を経営している発表者の事例を参考に「誰もが輝けるロボット未来社会を担う人材を育てるためには」のアイデアを考えました。



ワークショップにはロボットも参加?

13 **健康と福祉** 参加者16名
 ファシリテーター:小林 孝子さん(滋賀県立大学人間看護学部 准教授)
 話題提供: 1) 未来看護塾(滋賀県立大学近江座) 2) ボランティアサークルHarmony(滋賀県立大学近江座)
 3) 滋賀県健康福祉部健康寿命推進課健康しが企画室
 あらゆる年齢のすべての人たちが、健康で幸せな生活を過ごすために我々ができることについて、「じぶんで」「みんなで」「じっくり」「いますぐ」の4つの観点で、グループディスカッションを行い、模造紙にまとめて、全体会場で発表しました。

14 **教育とSDGs** 参加者23名
 ファシリテーター:前川 真司さん(株式会社みんなの奥永源寺)
 話題提供者: 1) 子ども学習支援サポーターズ(滋賀県立大学近江座) 2) 藤澤 彰祐さん(東近江市BBS会)
 3) 堀 豊さん(フードバンクびわ湖)
 時代の変化とともに転換期に差し掛かる教育について、互いの取組や経験を参照・共有しながら、学び育ちの未来をつくるために語り合い、パートナーシップの構築を図りました。

15 **多文化共生と地域社会** 参加者11名
 ファシリテーター:會田 真由美さん(公益社団法人滋賀県国際協会)
 話題提供: 1) 會田 真由美さん(公益社団法人滋賀県国際協会) 2) 聖泉大学留学生防災チーム(聖泉大学) 3) 河かおるさん(滋賀県立大学人間文化学部 准教授)
 メインタイトル「多文化共生と地域社会」、サブタイトル「多文化共生と地域社会-災害時に「誰一人取り残さない」ために」でワークショップをおこないました。ファシリテーターより、「災害時の外国人支援について-東日本大震災の事例から」と聖泉大学留学生防災チームより「外国人にも優しい防災システムの構築」の発表をそれぞれ行い、集まった人それぞれが、理解を深める機会になりました。

16 **コミュニティ再生 持続可能なまちづくり** 参加者20名
 ファシリテーター:丸山 真央さん(滋賀県立大学人間文化学部 教授)
 話題提供: 1) おとくらプロジェクト(滋賀県立大学近江座) 2) Taga-Town Project(滋賀県立大学近江座) 3) DOKKO(福知山公立大学)
 地域に持続的に関わっている学生の活動や学生と地域の架け渡しをする活動、地域から他出している家族の往来行動などについての報告を交え、SDGsの目標3「すべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」と目標11「包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する」を念頭におきながら、どんなことができるのかをまとめ、発表しました。

17 **SDGs入門(カードゲーム)** 参加者30名
 ファシリテーター:風 かおるさん(有限会社ガイアコミュニケーション)
 自分たちのゴールを目指しながら経済・環境・社会を構築していくゲーム「SDGsカードゲーム」を行い、それぞれの学びを共有し、以下の4項目にまとめ、発表しました。
 ①経済と環境と社会のバランスを保つことの重要性
 ②全体を見て、一人一人が主体的に行動することの大切さ
 ③できるorできないでものが判断してはダメ
 ④一つの物事を改善するだけではすべてが解決されるとは限らない

ホールでの成果発表▶



交流会 大会終了後の交流会では、ワークショップ成果の相互評価を行うなど、参加者同士の親交を深めました



参加された皆様からたくさんのご意見ご感想をいただきました。その一部を紹介させていただきます。

基調講演について

- ・S I d oを用いた意見交流はとでも良かった。
- ・楽しく社会課題を解決することなど、今まで自分になかった発想を学ぶことができて良かった。
- ・福井県での先進的、挑戦的な活動事例を知る機会となった。
- ・「これからの未来に向けて、S D G s をきっかけとして、社会問題を自分ごとにして主体的にアクションしていきましょう。」と強調されていたのが印象的でした。
- ・初めての参加でしたが、概要的なことばかりでなく、具体的な取り組みについて紹介があったので、わかりやすかった。
- ・J I C A職員の方の様々な活動について知ることができて良かった。
- ・J I C Aの方の取組経験談、また若者を引き付ける活動に楽しさを感じました。

パネルディスカッションについて

- ・S I d oも使いながら、来場者参加型で議論が盛り上がっていた。
- ・スマホを使った質疑応答形式だったので、会場参加者とリアルタイムで質問や意見交換を行うことができて良かったと思います。
- ・自治体、企業、学生の側からの事例発表はどれも興味深かったです。それぞれの立場から討議する時間があればもっと良かった。
- ・パネリストによる説明時間の偏りがありました。時間が限定されていたので、事前に決められた時間内に要点を簡潔明快に発表するように周知しておく必要があったと思います。
- ・様々な取り組みを知ることが出来ました。
- ・活動内容をもう少し詳しく発表頂ければと感じた。

ポスターセッション・動画コンテストについて

- ・各参加チームのアイデアがとでも興味深く、今後の参考になった。
- ・ポスター等作成されたメンバーの発表・説明があり、背景も理解できた。
- ・渋川小学校の発表が素晴らしかった。
- ・学生のみなさんの活動に驚かされました。
- ・1つひとつの発表が短かったように思う。
- ・全員分の座席が無く、長時間立ったままでの拝聴となり疲れました。

ワークショップについて

- ・今まで知らなかった問題や、その解決法について考えることが出来たため、良かった。
- ・まさに、S D G s に取り組んでいる学生とディスカッションできたのが良かったです。これからの未来を担う若い学生のアイデアは新鮮なものばかりでした。
- ・私はテーマ6へ出席しました。4報告ともにテーマに沿った良い内容でした。
- ・カードゲームを通じて、S D G s について知ることが出来、若い高校生のみなさんの意識の高さにビックリした。自分の無知を知りました。
- ・S D G s 推進に向けての良い話し合いができた。
- ・他団体の発表も回れるようにしてもらいたいです。
- ・大学生と地域との取組がよく伝わった。

全体について

- ・多くの新しい方と出会うことが出来て大変良かったです。また次回も参加したいので開催をお願いします。
- ・この先S D G s に関連する活動が何かできないかを考える参考になりました。
- ・県立大学が主体的に取り組むイベントとしてグレードアップして欲しい。



事務局より

ご参加・ご協力・ご支援いただいた皆様のおかげで大会を無事終了できたことをうれしく思い厚く御礼申し上げます。皆様がこの大会参加をきっかけに、新しいアクションを起こされ、新しいつながりが生まれることを願っております。改善や見直しすべき点も多々ありますので、皆様のご意見を参考に、より良いプログラムを継続して参りたいと存じます。その際はどうぞよろしくご意見申し上げます。本当にありがとうございました。

滋賀県立大学 理事(地域連携担当) 高橋滝治郎

第2回 キャンパスSDGs びわ湖大会

～地域から生まれる新しい価値～

2019.11.16 SAT



9:30~10:10 オープニング 開会式

交流センター・ホール
挨拶：滋賀県立大学 理事長/学長・廣川 能嗣
挨拶：滋賀県知事・三日月 大造 氏

10:10~10:55 第1部 基調講演

交流センター・ホール
講師：高野 翔 氏 (国際協力機構(JICA) 職員)

11:00~12:00 第2部 パネルディスカッション

交流センター・ホール

12:00~12:45 休憩・交流

学生食堂「ナシェリア」特別営業



ヒレカツセット 450 円・ハンバーグセット 450 円

「ナシェリア」を除く学内の飲食施設は本日は全て休業しております。お食事はなるべくナシェリアにお越しください。



12:45~14:15 第3部 ポスターセッション・動画コンテスト

交流センター・ホワイエ
テーマ 「SDG s でつながり、地域の課題解決を考える」

14:30~16:10 第4部 「SDGsの17目標でつながる」ワークショップ

交流センター A4棟・A棟・E7棟

16:15~17:00 ワークショップの発表

交流センター・ホール

17:00~17:30 ポスターセッション・動画コンテストの結果発表と表彰

交流センター・ホール

17:40~19:00 交流会 事前申込要

学生食堂「ナシェリア」

主催：滋賀県立大学 滋賀県
共催：彦根長浜地域連携協議会、一般社団法人びわ湖大学・地域コンソーシアム(構成大学：長浜バイオ大学、滋賀文教短期大学、滋賀大学、聖泉大学、びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部、滋賀短期大学、立命館大学、滋賀医科大学、龍谷大学、放送大学(滋賀学習センター)、成安造形大学、びわこ成誠スポーツ大学)
後援：滋賀県教育委員会、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、栗田町、豊郷町、甲良町、多賀町

協賛：滋賀トヨペット株式会社、山科精器株式会社

第4部 SDGsの17目標で つながるワークショップ

【タイムスケジュール】

14:00 交流センターホワイエに集合
→各会場に移動
14:30 各会場にてワークショップ開始

16:10 ワークショップ終了
→交流センターホールに集合
16:15 各グループの成果プレゼンテーション

17:00 ポスターセッション・動画コンテストの結果発表と表彰
17:30 閉会(予定) → 交流会@ナシエリア

ワークショップの趣旨とお願い

- (1) ワークショップの趣旨は、様々な分野、いろいろな世代の人びとが一堂に会してそれぞれの活動を紹介し、議論しあう中から「持続可能な開発のための目標(SDGs)」の達成につながる新たな学びやパートナーシップを育むことを目指します。
- (2) 各ワークショップのテーマについて、議論を広げ、およそ10年後(2030年)には、「こうありたい・なりたい」と思う姿や

目標を出し合い、実現するためのアクションやアイデアを成果物(模造紙1枚)としてまとめてください。

- (3) ワークショップの進行および成果物の作成は、各グループのファシリテーターの指示に従って行ってください。
- (4) 成果物については、ホールに集合後、各グループ1分間でプレゼンテーションしていただき、全体で共有します。閉会後の交流会の場で、優れた成果物に賞品を贈呈します。

ワークショップテーマ	報告者	団体概要/報告内容
1 海外支援 会場: A4棟209教室 ファシリテーター: 山本 康夫氏 (JICA滋賀デスク)	*滋賀県立大学 近江楽座 タクロバン復興支援プロジェクト* Jesuit House Project * ハティヤール村 カディプロジェクト*	フィリピン タクロバンでの台風被害からの復興支援 現地の人たちとコミュニティ再生に向けて活動中 フィリピン セブ市で建築遺産を活用した地域拠点づくりを展開 住民活動や子どもの教育の場として整備中 インド ハティヤール村で女性雇用と生活向上のため、手紡ぎ手織りの布地の生産・販売体制構築を支援
2 自然エネルギー 会場: E5棟103教室 ファシリテーター: 秋山 毅氏 (滋賀県立大学)	フラワーエネルギー「なの・わり」* 小出 宏之氏 (イビデンエンジニアリング(株)) 藤敦 正幸氏 (伊吹山集落営繕)	休耕田を活用し、菜の花とひまわりを栽培し、バイオディーゼルの燃料を生成する資源循環型社会を目指す活動 自然エネルギーを事業に イビデンエンジニアリングの取組 伊吹山集落営繕の取組紹介
3 古民家再生 会場: A4棟210教室 ファシリテーター: 吉本 哲氏 (ベストハウスネクスト(株))	とよさと快哉プロジェクト* かみおかへ古民家活用計画 -SLEEPING BEAUTY-* NPOツナガルドボク中国 (鳥取大学)	豊郷町の空き家となった古民家を自分たちの手で改修し、シェアハウスやイベントスペース、バーなどに再生活用 彦根市上岡部町の古民家を拠点に地域の活動への参加、イベント開催、ひょうたんの栽培から販売などを実施 将来の業界を担う若者自身が主体性を持って建設業の魅力を発信し、若者が地域に定着・活躍する事を通じて地域の持続的発展に貢献する。
4 復興・防災まちづくり 会場: E7棟101教室 ファシリテーター: 小島 なぎさ氏 ((一社)まちづくり石寺)	田の浦ファンクラブ 学生サポートチーム* たけともミライ* 木興プロジェクト* 防災のつどひ (和歌山大学) 防災サークル織 (名古屋大学)	東日本大震災の被害に遭った宮城県南三陸町の田の浦で 地域復興・交流イベントによるまちづくり活動を展開 宮城県気仙沼市に復興の拠点となる「竹の会所」を建設し、竹の会所を中心に地域と交流を続けている。 東日本大震災を受けて、これまで培ってきたノウハウ等をもとに、木造建築の設計・施工による復興支援を目的として活動しています。 和歌山大学協働教育センター(クリエ)のプロジェクト 和歌山を中心に防災について研究、実践している団体です。 今年2月に設立。サバイバルキャンプ学生サポーターとして研修、活動したり生きた学びも重視し、現地現場の視点を積極的に取り入れ活動している。
5 地域診断法 会場: E5棟104教室 ファシリテーター: 新村 佳嗣氏 (行政書士 新村法律事務所)	多賀町大滝小学校 木村 恵理氏 (野洲市社会福祉協議会) 李京蒙氏 (滋賀県立大学)	地域診断法ワークショップを小学6年生の児童が実践。教員用マニュアル、児童用副読本を用いて、地域の特徴と未来を考える学習を行っている。 野洲市江部地区において実践した地域診断法WSの報告 社会福祉協議会のスタッフがファシリテーターとして実践を試みた。 地域診断法WSをアレンジした「健康まちづくりWS」の実践と、その後の住民主体の活動の報告。WSに保健師さんが関与した事例
6 地域文化を 未来につなぐ 会場: 交流センター 研修室1・2・3 ファシリテーター: 竜王 真紀氏 (山内エコクラブ)	鷹・沖島* スチューデント・キュレーターズ* 藤田 アニコ 氏 (滋賀でESDを進める会) 竜王 みやび氏 (山内エコクラブ・学生団体TREAD)	琵琶湖に浮かぶ沖島で少子高齢化や過疎化などの問題に対して、「まなぶ・まじわる・ささえる」をモットーに島民とともに離島振興に取り組む。 地域の方と一緒に地域文化財を活用するための地域博物館づくりを「学生学芸員」として取り組み、古文書や民具の調査、保存を行う。 滋賀県の地域資源を活かしたESDの展開に取り組む。近年では地域の自然と文化に学ぶエコツーリズムのコンテンツの企画・運営にも従事している。 甲賀市土山町山内地区を中心に、地域における人と自然の関わりを学び、守り、伝える様々な取組を進める。
7 エシカル消費と フェアトレード 会場: E7棟104教室 ファシリテーター: 辻 博子氏 ((一社)滋賀グリーン活動ネットワーク)	(株)コクヨ工業滋賀 叶匠 寿庵	びわ湖の環境を守るため、ヨシを活用し文具を開発・製造・販売 ヨシ刈りボランティアや環境学習会も実施 和菓子屋が持つ里山「寿長生の郷」 「農ひとつ」を唱え、菓子の素材を作りながら存続する里山を考える。
8 農業と地域ブランド 会場: A4棟304教室 ファシリテーター: 武藤 健司氏 (アパルック(株))	政所茶レン茶* とよさだプロジェクト* 今堀 治夫氏 (東近江市東見出在家町 魚のゆかり水田協議会) 上田 長司氏 (農業生産法人(有)水原マルベリー)	東近江市政所町で地元の農家の方に茶畑を借りてお茶づくりから販売まで自分たちで行い、政所茶の魅力を発信している。 犬上郡豊郷町で、農業従業者の高齢化と後継者不足が進み耕作放棄地された農地とビニールハウスを借りて野菜づくりを行っている。 東近江市東見出在家町における魚のゆかり水田活動。地域のなりわいと暮らしに根づく持続可能な取組や実践として世界農業遺産の核となる取組 過疎化が進む水原寺地域のまちづくりの振興をはかる取組。山間地域で耕作放棄地を開墾し、桑や明日葉を生産し、青汁の原料として提供

ワークショップテーマ	報告者	団体概要/報告内容
9 琵琶湖の環境 会場: E7棟102教室 ファシリテーター: 金尾 滋史氏 (琵琶湖博物館)	廃棄物/マスターズ* 滋賀県大生生物研究会* 酒井 明久氏 (滋賀県水産試験場) 草津中学校 (滋賀小学校卒業生)	家庭から排出されるプラスチック廃棄物から雨水タンクを製造し、雨水利用を推進する取組 日本の固有種を守るために外来種の駆除や水辺の環境問題についての啓発活動を展開 漁場環境としての琵琶湖の課題 滋賀の郷土料理学習、文化の継承と琵琶湖の環境保全
10 やまの健康 会場: E7棟105教室 ファシリテーター: 田中 孝佳氏 (滋賀県琵琶湖環境部森林政策課)	BAMBOO HOUSE PROJECT* 伊賀直正 信氏 (木の駅いぶき実行委員会) 田中 孝佳氏 (滋賀県琵琶湖環境部森林政策課)	放置竹林の問題を地域と学生が協力して解決を目指す。竹林整備のために伐採した竹で竹建築を建てることで、地域の交流の場をつくる。 米原市上板並地域の取組。地域住民による新生産などのコミュニティ・ビジネスの実践や、ドローンを用いた駆害対策の取組を行っている。 滋賀県の「やまの健康」推進事業の紹介。農山村の価値や魅力に焦点を当てた取組を支援することで、農山村が活性化される姿を目指している。
11 SDGsを広める 会場: A7棟自習室 ファシリテーター: 中口 毅博氏 (芝浦工業大学)	芝浦工業大学 SDGs学生委員会 あかりんちゅ* 中野 優氏 ((株)ライフデザイン版急版神) 西野 日菜氏 (立命館大学Sustainable Week実行委員会)	一人でも多くの人にSDGsを他人事にせずに「問題意識」をもってもらう 芝浦工業大学の取組 -マイSDGs宣言キャンペーン お寺から廃棄されるろうそくを回収し、手作りのキャンドルを販売したり、キャンドルナイトを実施 私にとつてのSDGs - 人をつなぐ場づくり びわこ・くさつキャンパスを「小さな地球」と捉え、SDGs体験型イベント「Sustainable Week」を実施。甲賀市で「ふるさとSDGs」を実践
12 科学技術とSDGs 会場: 交流センター 研修室7 ファシリテーター: 山野 光裕氏 (滋賀県立大学)	青柳 孝幸氏 (PRO-SEED(株)) 丸 直樹氏 (ガイザーロボットスクール) 西村 健太郎氏((有)エコラボ)	工場生産設備のシステム設計、プログラミング設計を手掛ける会社が、未来のエンジニアの育成を目的にロボット教室を開校 二足歩行ロボット「キングカイザー」を製作するMARU Familyがロボット教室を開講 地元ソフト開発会社が考える人材育成
13 健康と福祉を考える 会場: E5棟102教室 ファシリテーター: 小林 孝子氏 (滋賀県立大学)	未来者護塾* ボランティアサークル Harmony* 高屋 大樹氏 (滋賀県健康福祉部 健康寿命推進課健康しが企画室)	誰もがその人らしく生きられるためにどうすべきかを考え、コミュニケーションや健康を学ぶ機会を提供している。 月に1度、障がいのある子どもたちと油絵や粘土やお茶、その他様々な体験を実施。 企業やNPO法人、大学、地域団体などの多様な主体が互いに連携して健康に関する取組を実施する「健康しが」
14 教育とSDGs 会場: A4棟302教室 ファシリテーター: 前川 真司氏 ((株)みんなの奥永源寺)	子ども学習支援サポーターズ* 堀 豊氏 (フードバンクびわ湖) 藤澤 彰祐氏 (東近江市BBS会)	子どもの学習支援と、おしゃべりイベントによって地域の人とのつながりの中に子どもの居場所をつくる活動にサポートボランティアとして関わる。 寄付寄贈された食品を生生活困者の支援に活用するフードバンク事業を通じて、社会のあらたなつながりを育む取組を推進している。 冒険遊び場等の活動を中心に、不登校児の居場所づくりや支援、学校だけに閉じこもらない多様な、新たな教育環境の創出に取り組む。
15 多文化共生と地域社会 会場: A4棟305教室 ファシリテーター: 曾田 真由美氏 ((公財)滋賀県国際協会) 河 かおる氏 (滋賀県立大学)	曾田 真由美氏 ((公財)滋賀県国際協会) 聖泉大学留学生防災チーム 河 かおる氏 (滋賀県立大学)	災害時の外国人支援について -東日本大震災の事例から 留学生による提案 -外国人にも優しい防災システムの構築 災害時のデマの危険性について -ヘイトクライムを生まないために
16 コミュニティ再生・ 持続可能なまちづくり 会場: A4棟303教室 ファシリテーター: 丸山 真央氏 (滋賀県立大学)	おとくらプロジェクト* Taga-Town-Project* DOKKO(福知山公立大学) 丸山 真央氏 (滋賀県立大学)	築二百年を超える古民家と蔵を学生の手により改修してきた「ギャラリー喫茶おとくら」。その運営を軸とし、地域活動への参加、イベントなどを行う。 犬上郡多賀町を拠点に活動する団体 学生の視点で多賀の魅力を発見・発信している。 地域と学生の架け橋を創る学生プロジェクト 竜王町における他出家族の実態と生活サポート
17 SDGsカードゲーム体験 会場: A7棟101教室 ファシリテーター: 風 かおる氏 ((有)ガイアコミュニケーション)		SDGsカードゲームを体験しよう！誰一人取り残さない持続可能な社会をつくるためにプレイヤーが様々なプロジェクトへの取り組みを行うシミュレーションカードゲーム。ゲーム後に、SDG達成に向けてそれぞれがどう行動するかを考える。

第2部 パネルディスカッション

登壇者：高野 翔 氏（国際協力機構(JICA)職員） / 大日 陽一郎 氏（山科精器株式会社 代表取締役社長） / 中田 佳恵 氏（滋賀県企画調整課 課長） / 宮内 芳維 氏（鳥取大学・NPOツナガルドボク中国） / 川嶋 凛海 氏（滋賀県立大学 近江楽座 田の浦ファンクラブ学生サポートチーム）

パネルディスカッションではSli.doを使って会場の参加者の皆さんからスマホで質問を受付けます。



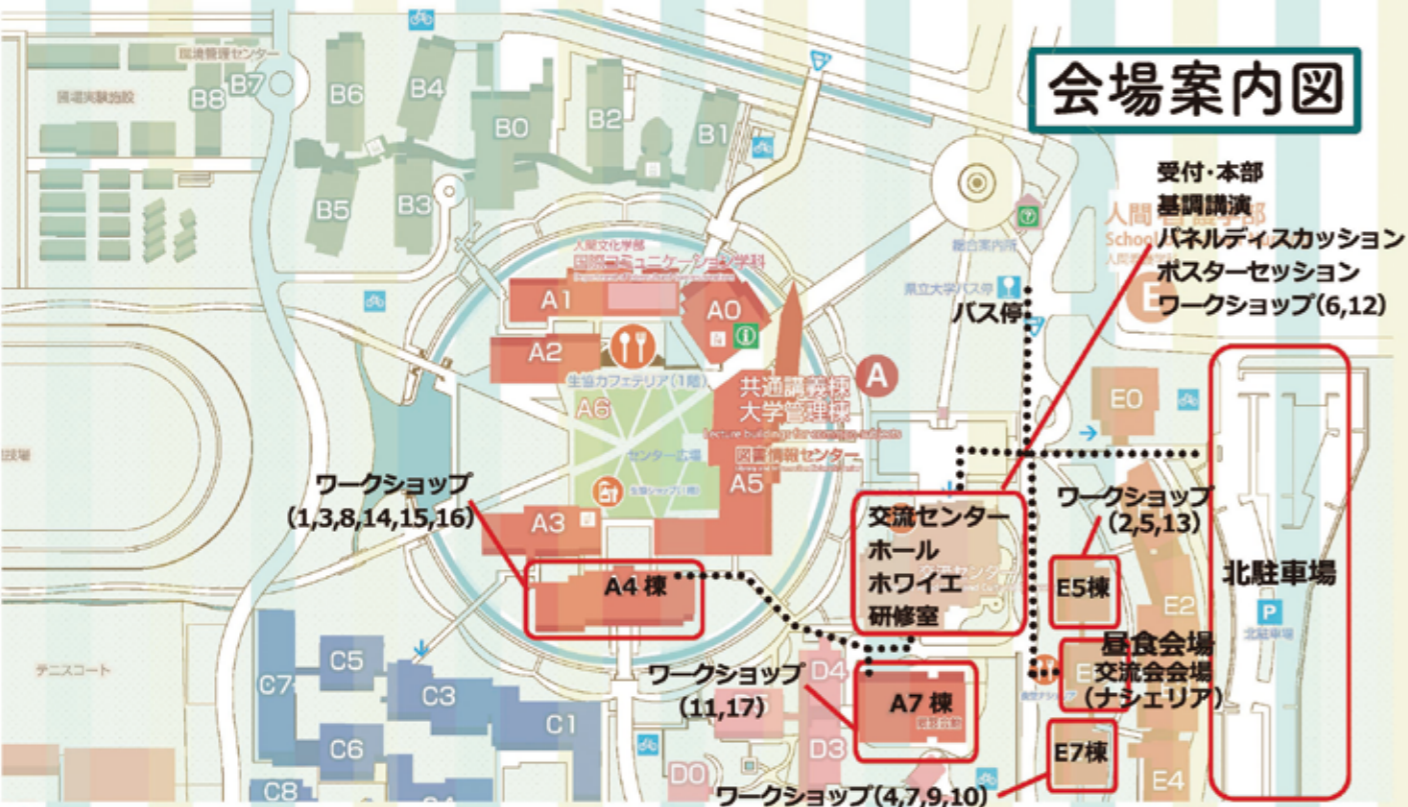
- 1.QRコードor「sli.do」を検索しページ<https://www.sli.do/>にアクセス。
- 2.Enter event cc(#に続く部分)の欄に「8697」を入力。

第3部 12:45～14:15@交流センター・ホワイエ ポスターセッション・動画コンテスト

実践部門	チーム名	タイトル
	1 とよさと快蔵プロジェクト	とよさと空き家リノベーション事業
	2 廃棄物/バスターズ	廃棄物/バスターズの取組
	3 フラワーエネルギー「なの・わり」	フラワーエネルギー「なの・わり」の取組
	4 未来看護塾	未来看護塾の取組
	5 橋本建設・NPO法人CESA	工事をジプソトに!CESAアクションプログラム
	6 フードバンクびわ湖	食品ロスを地域の資源へ
	7 守山高等学校「おにぎり班」	おいしが!で滋賀を元気に!世界の子どもたちに笑顔を!
	8 芝浦工業大学SDGs学生委員会-綾いと-	SDGs学生委員会-綾いと- 活動報告
	9 鳥取大学・NPOツナガルドボク中国	社会人と学生をツナギ、地方中小企業の魅力で地域創生
	10 エコスクール渋川小学校	地域の人々をつくる「渋川IESDミュージアム」
アイデア部門	1 滋賀県立大・山添,平田,藤原,福島,川北	PP大作戦
2 滋賀県立大・下口,金森,山口,宮島,大原	竹の時代到来!!	
3 滋賀県立大・木村,中西,下村,山田,野口	プラスチック税導入!!	
4 滋賀県立大・森,苑,徳武,尾本,白杵	滋賀県プラゴミアート大会	
5 滋賀県立大・杉原,小田,松永,津野,苗苗,井上	あなたの水筒給水しませんか?	
6 滋賀県立大・長島,西,南浮,佛性,山本	恋もゴミもキャッチング!?	
7 守山高等学校 チームFE3C	ごみを資源に!制服to制服でつくる未来の輪	
動画部門	1 長浜北星高等学校	ふるさとめぐり
2 田の浦ファンクラブ学生サポートチーム	海の運動会in田の浦	
3 びわ湖大学・地域コンソーシアム SDGs動画プロジェクト第1班	住み続けられるまちづくりを 滋賀県大津市「仰木の里」	
4 びわ湖大学・地域コンソーシアム SDGs動画プロジェクト第2班	飢餓をゼロに	
5 びわ湖大学・地域コンソーシアム SDGs動画プロジェクト第3班	みんなのSDGs 目標2「飢餓をゼロに」飢餓のない世界を	
6 びわ湖大学・地域コンソーシアム SDGs動画プロジェクト第5班	滋賀のお茶「政所茶」	
7 チーム長島	豊かな海と共にいきる暮らし	

ポスター掲示のみ

- ・滋賀県食のブランド推進課 有機農業について
- ・滋賀県農政課 世界農業遺産を目指して
- ・滋賀県農村振興課 魚のゆりかご水田



キャンパスSDGsびわ湖大会開催!

ポスター
動画コンテスト
開催

第2回 キャンパスSDGs びわ湖大会

～地域から生まれる新しい価値～

11.16(土)

9:30～17:30

会場：滋賀県立大学

若者・企業
地域団体の
新たな出会い!

持続可能な
未来のための
アイデアを
ワークショップで
生み出そう!

入場無料

- ・定員 600名
- ・要事前申込み
- ・交流会は別途費用

若者と考える
地域の未来

主催：滋賀県立大学 滋賀県（予定）
 共催：彦根長浜地域連携協議会、一般社団法人びわ湖大学・地域コンソーシアム（構成大学：長浜バイオ大学、滋賀文教短期大学、滋賀大学、聖泉大学、びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部、滋賀短期大学、立命館大学、滋賀医科大学、龍谷大学、敬遠大学（滋賀学習センター）、成安造形大学、びわこ成蹊スポーツ大学）
 協賛：滋賀トヨペット株式会社、山科精器株式会社
 後援：滋賀県教育委員会、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町（いづれも予定）

